



第3次雲南市総合計画策定に係る タウンミーティング (地区別意見交換会)

令和6年1月16日（火）吉田健康福祉センター
1月18日（木）加茂交流センター
1月25日（木）木次総合センター
1月29日（月）三刀屋交流センター
1月30日（火）大東地域交流センター
2月 1日（木）掛合交流センター

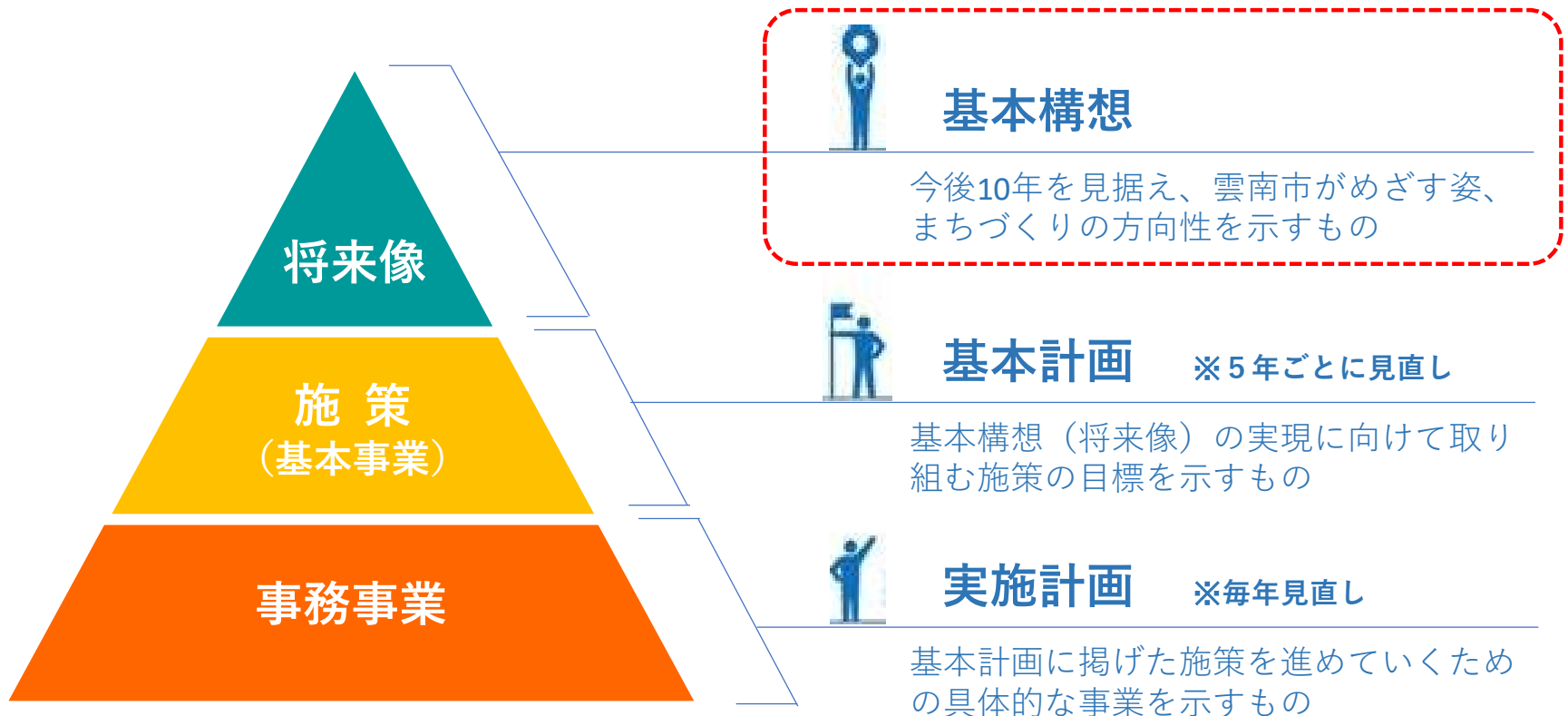
次第（19:00～20:30）

1. 開会あいさつ
2. 計画基本構想（案）の説明
3. 意見交換（ワークショップ）
 - ① 将来像、基本理念について
 - ② めざすまちの姿について
4. 閉会

1. 総合計画とは

総合計画は、次の10年間（令和7～16年度）の**まちづくりの方針**や**目標**を定める計画です。市が取り組む全ての事業の基となる「**最上位計画**」となります。

現在、検討中



2. 第3次総合計画（基本構想）策定の流れ・スケジュール

5～8月

現状・市民ニーズ・
先進事例の把握

- 5月 キックオフフォーラム
- 6月 市内視察
- 7月 まちづくりワークショップ
- 8月 先進地視察(西粟倉村)

9～12月

基本構想
(将来像・基本理念)
の検討・まとめ

- 9～11月 策定委員会
- 10月 まちづくりワークショップ
- 12月 雲南ミライチズ円卓会議

R6年 1～6月

構想の
磨き上げ

- 1～2月 策定委員会
- 1月 タウンミーティング**
(市内6カ所)
- 3～4月 パブリックコメント

6月議会
(議決)



5/28 キックオフフォーラム



7/15 第1回まちづくりWS



10/21 第2回まちづくりWS

3. 総合計画策定委員会（地域代表、各分野選出、公募）



6/29 第2回総合計画策定委員会／市内現地視察（波多交流センター）

【策定委員】 20名 ／ 男性11名・女性9名／20-40代 11名・50代 4名・60-70代 5名

【若手市職員】 12名

4. これまでの総括



キックオフフォーラム（龍谷大学 深尾副学長）

これまで（人口増を前提とする社会）と、これから（人口減少社会）は違う
幸せのかたち、価値観の変化（働き方・暮らし方・教育のあり方の変化）
豊かな環境、資源がある雲南にはチャンス！

市民協働の深化（市民との対話プロセスのデザイン、関係人口の拡大）



総合計画策定委員会でのご意見

挑戦より、みんなで、楽しみながら、幸せに、えすこ（いい具合に）というマインド
市全体で共有できるシンプルでわかりやすいビジョンを
教育、経済循環、自治、自給、総働、生物多様性などがキーワード



市議会でのご意見

人口減少が進む中では、行政施策の効率化（合理的な見直し）も必要

地域の人権対策、周辺部対策は道路や除雪など身近な生活課題への対応が重要

5. 市長との意見交換会



- ・地域自主組織
 - ・高校生等
 - ・子育て世代
 - ・老人クラブ
 - ・民生児童委員
 - ・視覚障がい者協会
 - ・スポーツ推進委員 など
- 19回開催

【主なご意見】

高齢化による農業・農村の維持に関する不安の声（担い手確保、鳥獣被害等）

生活環境の維持に関するご意見（空き家、草刈、市道管理、河川の土砂撤去等）

人口減少対策に関するご意見（住宅、雇用、子育て支援等）

デジタル化や公共施設適正化など行政改革に関するご意見

独居高齢者や障がい者への生活支援に関するご意見

子育て環境の充実に関するご意見（子育て支援Cの充実、遊具の改善等）

6. 策定にあたっての基本的な考え方

① 行政の計画から“市民の計画”へ

市民が自分ごととして雲南市の将来像を考えたり、行動するきっかけとなる総合計画をめざす。

② 市民目線を変えていく

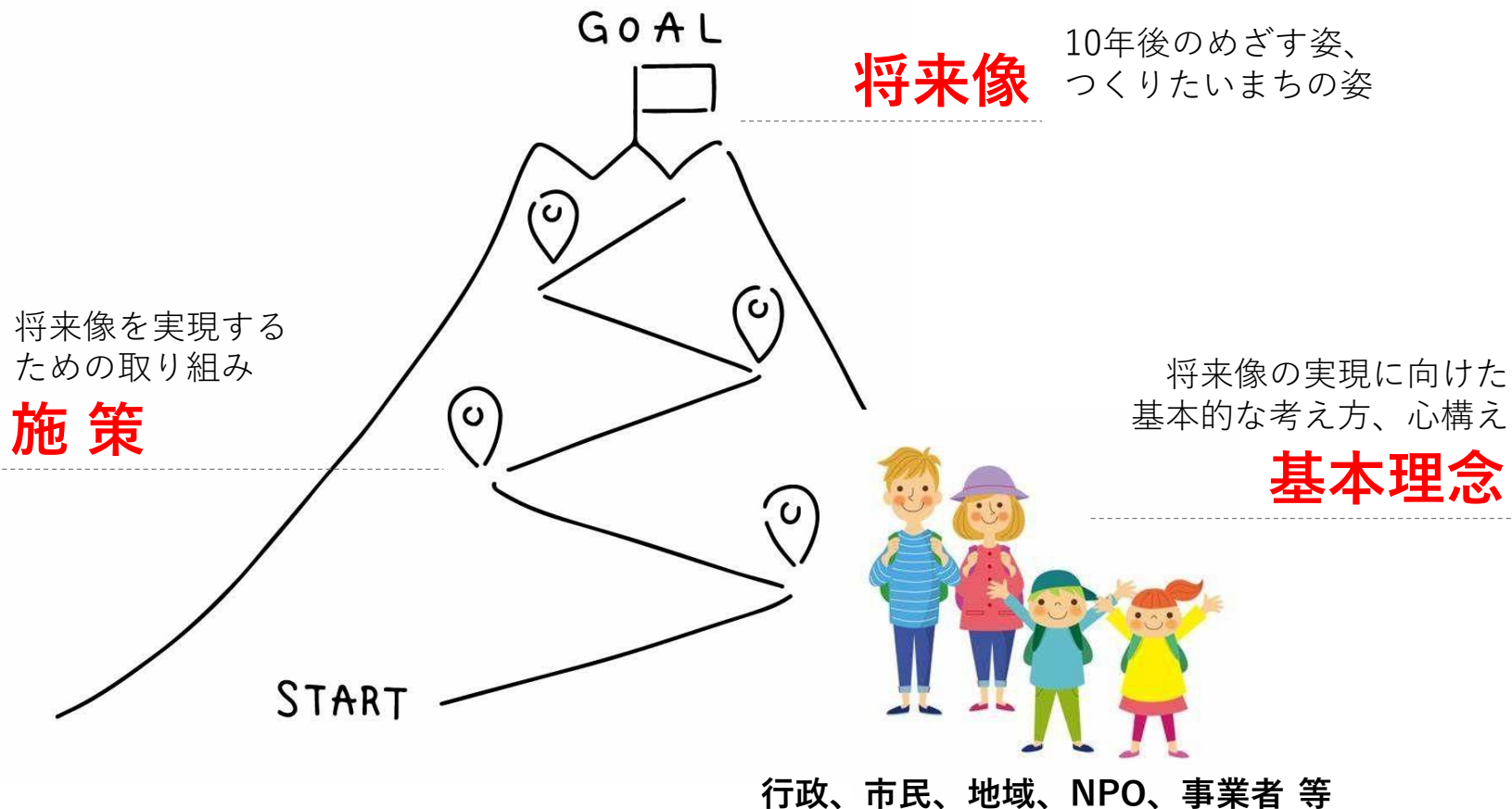
社会情勢や環境の変化に柔軟に適応していくことが大切であり、これまでの進め方に拘らずに必要な見直しを行っていく。

③ みんなでつくる

引き続き「市民との協働」を基本に、多様な皆さんと一緒に作り上げるプロセスを重視し、計画の実効性を高めていく。

7. 総合計画のイメージ

ゴール（将来像）を明確にし、そこに向かう心構え（基本理念）と、そこにたどり着くための道筋（施策）をわかりやすく示します。



8. 導き出されたキーワード

【将来像】（10年後のめざす姿）

えすこに／豊かさ／地域（自治）

【解説】

えすこに：多様性を尊重し、自然や次の世代にとっても良い状態。

豊かさ：先人から引き継いだ多くの恵みとともに、物心ともに満たされている暮らしがある状態。

地域（自治）：暮らしの舞台である地域やコミュニティが元気な状態。

【基本理念】（将来像の実現に向けた心構え）

つながり／チャレンジ

【解説】

人と人とのつながり、人と自然とのつながり（食、エネルギー）、過去から現在へのつながり（神話、たたら文化）、現在から次の世代へのつながり（教育、サステナビリティ）、外とのつながり（人材還流）、つながっている安心感・・・などを大切にすると同時に、変えるべきものを勇気をもって変える挑戦（チャレンジ）を大切にする。

9. 基本構想の素案

将来像（案）

10年後のめざす姿、つくりたいまちの姿

えすこな 雲南市

「えすこ」は、雲南市の方言で「ちょうどよい状態」のこと。

核家族化、少子化、都市化の進展などにより、社会の孤立化・分断化が進む中、雲南市には人と人、人と自然、世代と世代がえすこにつながる豊かさがあります。今だけ、自分だけ、人間だけではなく、みんなにとっての「えすこ」な状態があふれるまちの実現を目指し、「えすこな 雲南市」を目指す将来像に掲げます。

将来像 <次の10年で実現したいまちの“シーン”>

近所のあたたかな縁側



お年寄りの学校



イキイキと自分らしく
生きている大人



キラキラ
輝いている



保育留学・
都会土地より
田舎の中で
体験留学



子供が川遊びや
芋掘りしている

えすこに
おせっかい



おじいちゃん、おばあちゃんと
高校生、大学生が一緒に起業



おじいちゃん、おばあちゃんも
父さん、母さん、孫も
いっこの場で一緒に。

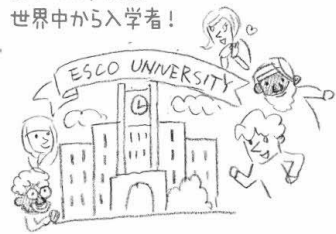


エネルギー、農業、里山、
水、自然が
巡っている



スマホなどの
デジタル化をいやす
自然の中で過ごす
ように整備する

えすこ大学開設
世界中から入学者！



好きなことや社会貢献が
お金になる



世界で挑戦した
雲南出身者が
地元で貢献している

会えるまち



外国人観光客が
あふれるまち



ひとり
ひとりの畑

一戸建てで、となりに農園で
野菜づくり



旅人の
聖地！



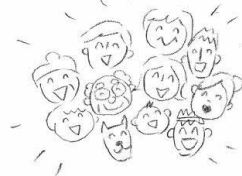
重加、神様、ご先祖
大きなれでみんなでごはんを
食べている



雲南市から日本全国、世界の
仕事ができる



みんなが笑顔



ロボットや
ドローンで
農作業
害獣対策

文化の継承が
できる



スポーツ大会に
参加する選手、スタッフ、
応援者のみんなが
楽しんでいる



一人暮らしでも
安心して暮らせる



安心な
暮らしが
続く



基本理念（案）

まちづくりの基本的な考え方・心構え

変わらず、変える

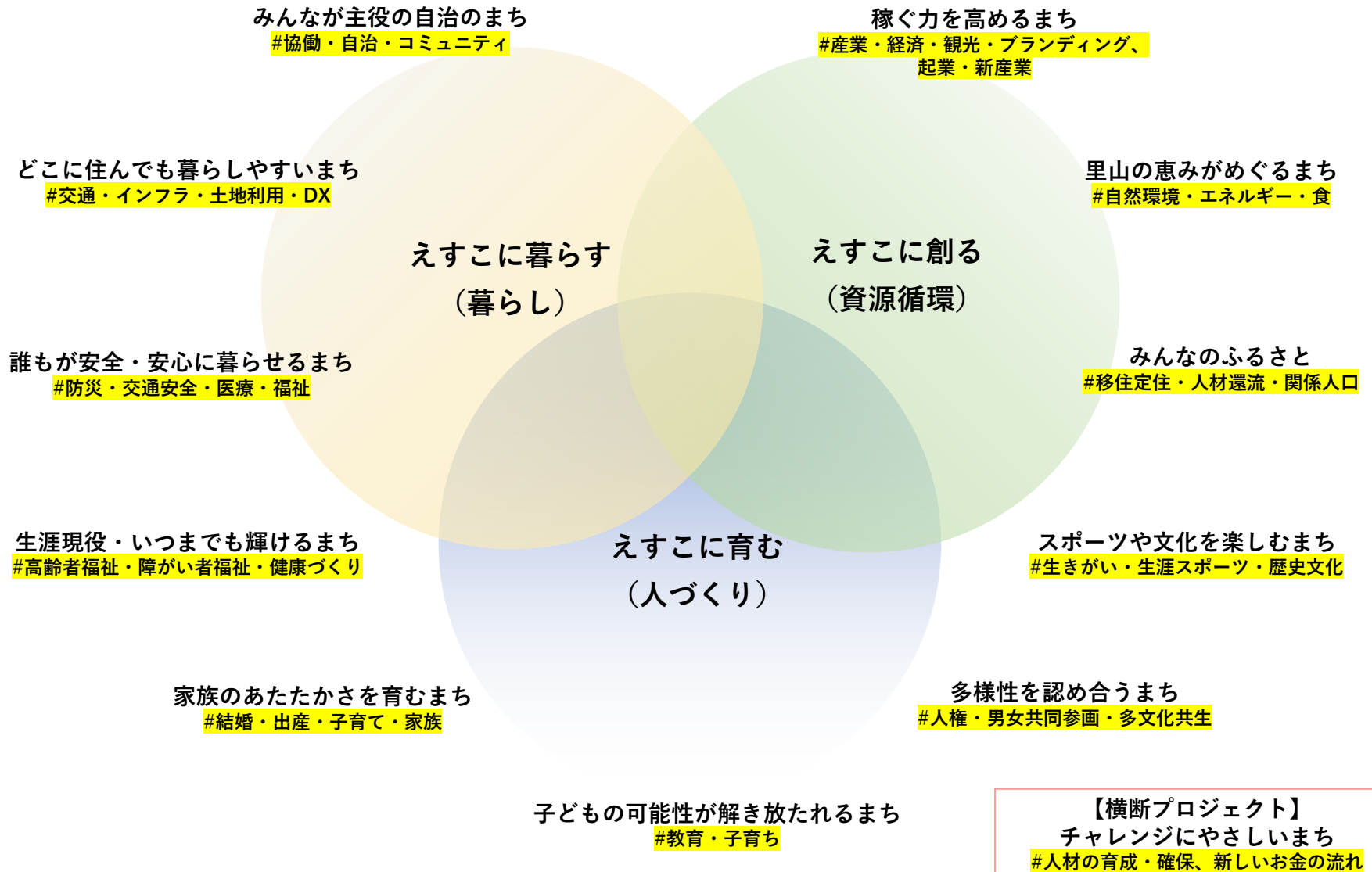
人と人がつながるあたたかなコミュニティ、人と自然が調和した里山の暮らし、神話の時代から連綿と続く豊かな歴史など。私たちが先人から引き継いだ雲南市の恵みを、今後も変えることなく、未来へつないでいくことが今を生きる私たちの責務です。

雲南市を取巻く社会の姿が大きく、早く変化する中、私たちが雲南市の恵みを守るためには、前例にとらわれない新しい発想で、変えるべきものを変えていくことが求められます。

変わらず、守ること。そのために勇気をもって自らを変えること。

この二つを今後のまちづくりにおける基本となる考え方、大切にする姿勢に定めます。

将来像を実現するための3つの柱と12の施策（案）



目指すまちの姿

近所のあたたかな縁側



お年寄りの学校



イキイキと自分らしく
生きている大人



キラキラ
輝いている



保育留学・
都会地より
田舎の中で
体験留学



子供が川遊びや
芋掘りをしている

えすこに
おせっかい



おじいちゃん、
高校生、大学!

えすこに 暮らす

えすこ大学開設
世界中から入学者!



スマホなどの
デジタルレレをいやす
自然の中で過ごす
ように整備する

一戸建てで、となりに農園で

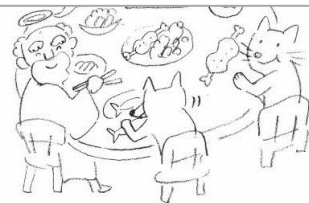
- 住民が自分ごととして地域づくりに取り組み、関係団体やNPO等との連携や関係人口を巻き込んだ活動が展開されている。
- 多様性を尊重し、ゆるやかなつながりを大切にしながら、地域での支え合いや助け合いがおきている。
- どの地域でもその土地らしく、心身ともに健康で、安心して、生き生きと自分らしく暮らしている。

好きなこと



重要地

雲南市から日本全
仕事ができる



みんなが笑顔

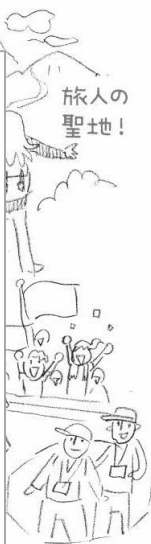


一人暮らしでも
安心して暮らせる



安心な
暮らしが
続く

旅人の
聖地!

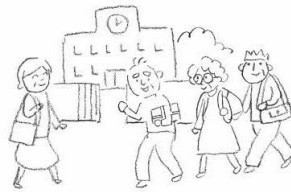


目指すまちの姿

近所のあたたかな縁側



お年寄りの学校



イキイキと自分らしく
生きている大人



キラキラ
輝いている



保育留学・
都会地より
田舎の中で
体験留学



子供が川遊びや
芋掘りしている

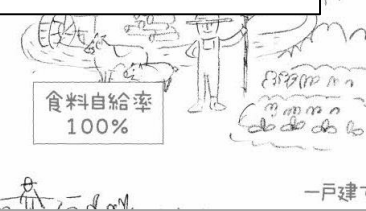
えすこに
おせっかい



おじいちゃん、
高校生、大学

えすこに 創る

えすこ大学開設
世界中から入学者!



スマホなどの
デジタルレレをいやす
自然の中で過ごす
ように整備する

一戸建てで、となりに農園で

- 食やエネルギーの地産地消が進み、暮らしや経済活動の中で地域の資源が活かされはじめています。
- 里山の魅力や価値を見いだす人たちがつながり、多様で付加価値の高い事業やサービスを生み出しています。
- 兼業副業などの人材シェアリングやDX化の進展により、市内事業者の生産性向上や新事業の創出が図られています。

好きなことや社会
お



世界中
雲南出身
地元で

雲南市から日本全国、世
仕事ができる



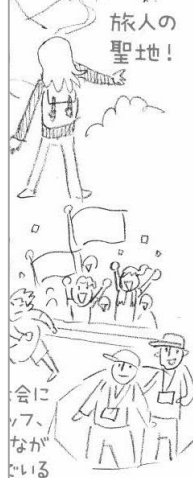
みんなが笑顔



一人暮らしでも
安心して暮らせる



安心な
暮らしが
続く



旅人の
聖地!

会に
フ、
なが
ている

目指すまちの姿

近所のあたたかな縁側



お年寄りの学校



イキイキと自分らしく
生きている大人



キラキラ
輝いている



保留留学・
都会地より
田舎の中で
体験留学



子供が川遊びや
芋掘りしている

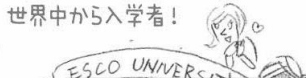
えすこに
おせっかい



おじいちゃん、
高校生、大学生

えすこに 育む

えすこ大学開設
世界中から入学者!



スマホなどの
デジタル化をいやす
自然の中で過ごす
ように整備する

- 子どもたちがワクワクする学びを自ら発見できるとともに、地域のつながりの中で挑戦を繰り返し、社会を生き抜く力や地域への愛着を深めている。
- 市外の雲南出身者や関係者とのつながりが広がり、多様な人材が学びや自己実現を通じて、雲南市のまちづくりへの関わりを深めている。
- 一人ひとりの家族の多様性についての理解のもと、家庭環境によらず子どもと家族が応援され、安心して子どもを産み育てられる環境が整っている。
- スポーツや伝統・文化、豊かな自然を楽しむ活動など多様なライフスタイルの実現を通じて暮らしを楽しみ、これを通じて新たなつながりを生んでいる。

人の
地!

の
地!

の
地!

の
地!

の
地!

の
地!

安心な
暮らしが
続く

10. 人口ビジョンの素案

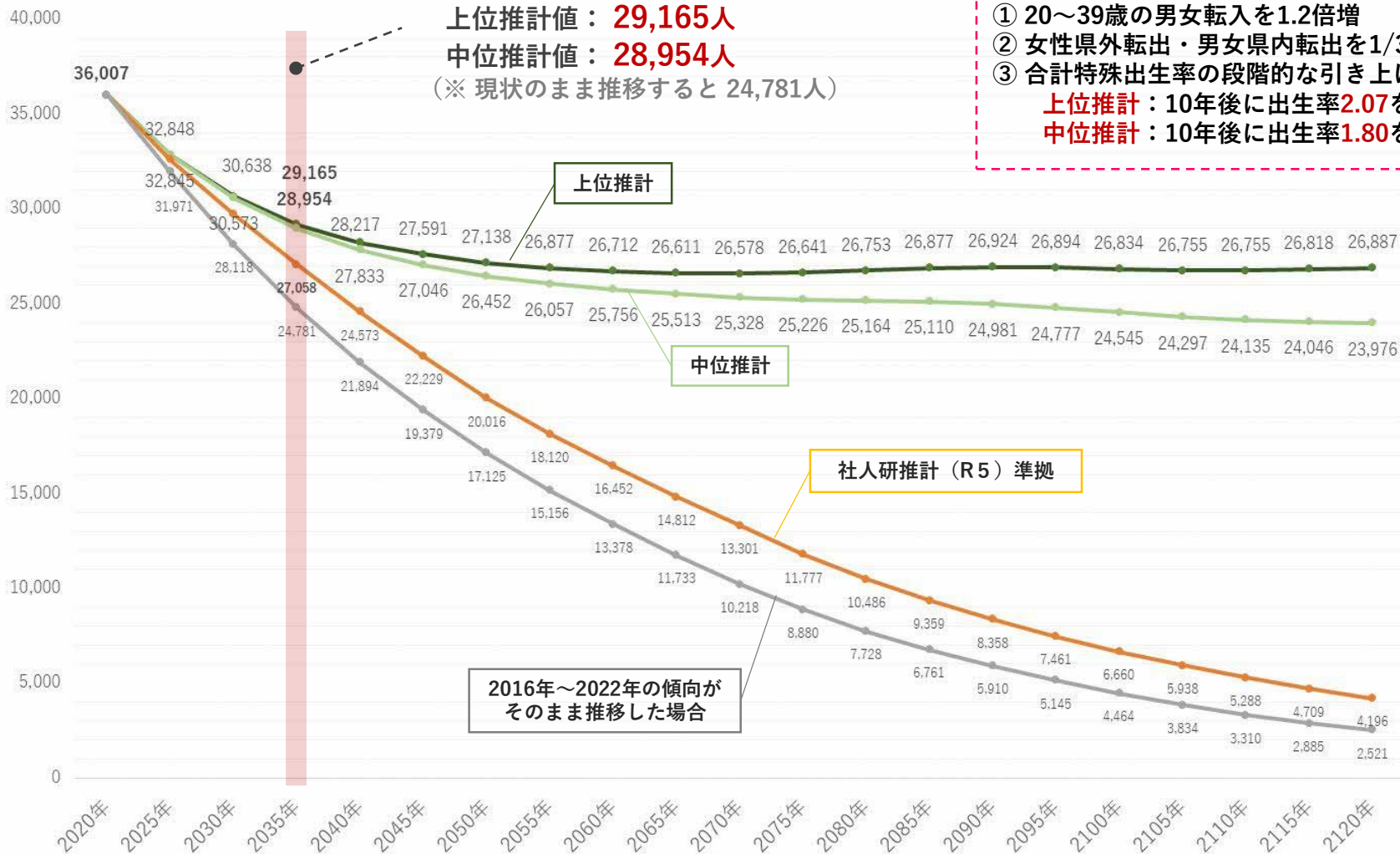
人口減少をゆるやかにし、将来にわたって安定した市民生活を維持するため、若い世代の人口増と出生数の回復を図り、バランスのとれた人口構造をめざします。

2035年推計人口：

上位推計値： **29,165人**
 中位推計値： **28,954人**
 (※ 現状のまま推移すると 24,781人)

【達成条件】

- ① 20～39歳の男女転入を1.2倍増
 - ② 女性県外転出・男女県内転出を1/3抑制
 - ③ 合計特殊出生率の段階的な引き上げ
- 上位推計：10年後に出生率**2.07**を達成
 中位推計：10年後に出生率**1.80**を達成



人口ピラミッドの推移

現在

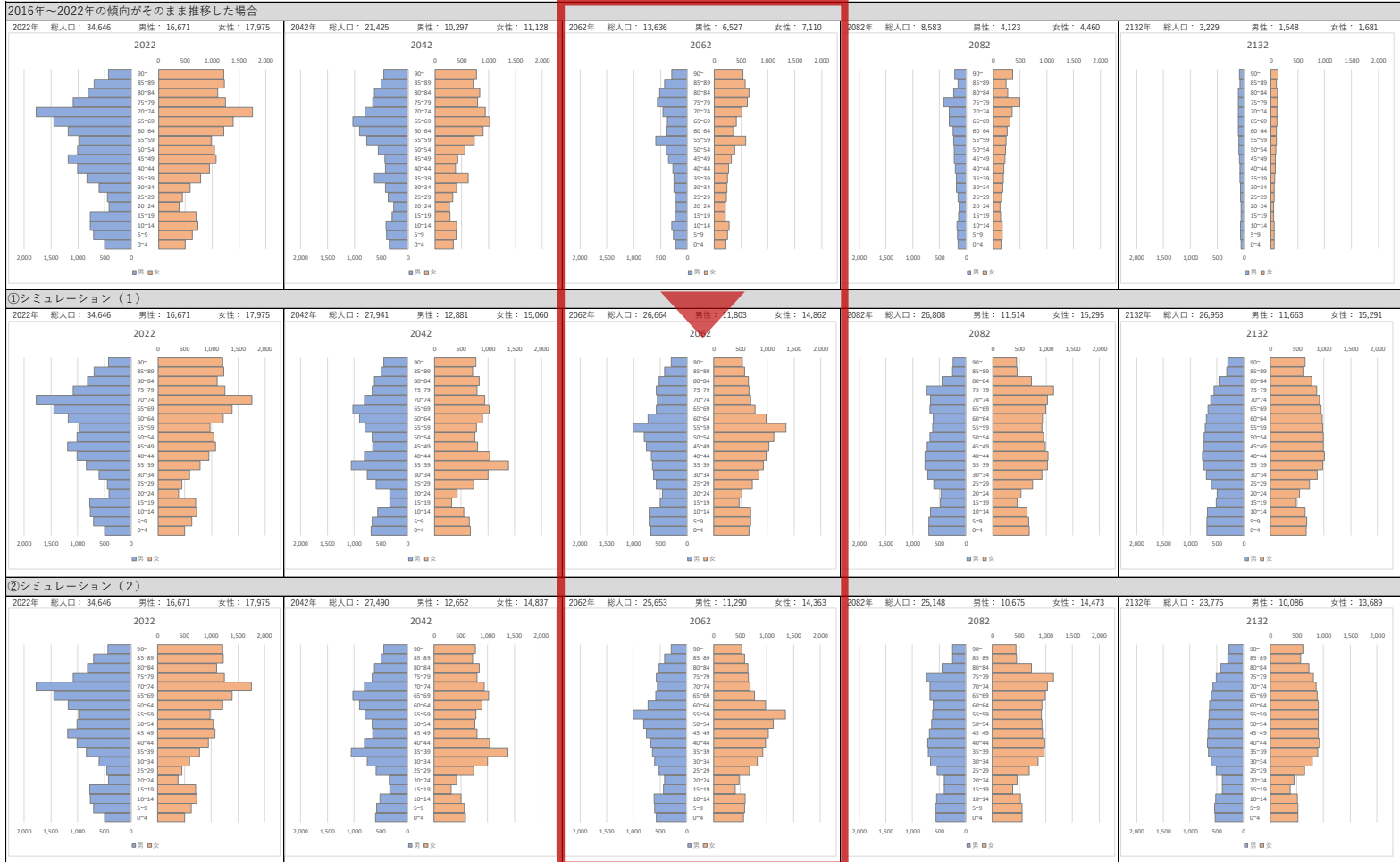
20年後

40年後

60年後

100年後

現状
推移



①
上位
推計

②
中位
推計

生産年齢人口の減少を緩和し、安定した人口構造とする。